

# 東日本大震災後の本県教育の復興に向けて（論点整理表）

## 宮城県教育振興基本計画における目標と基本方向

- 目標1** 夢と志を持ち※、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。  
※「志教育」とは 小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育。
- 目標2** 次代を支える社会の一員として、歴史が培ってきた文化や規範を尊重し、思いやりの心に富んだ人間を育む。
- 目標3** 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携の強化を図り、宮城の豊かな教育資源を生かしながら、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。
- 目標4** 生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

- 基本方向1** 学ぶ力と自立する力の育成
- 基本方向2** 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成
- 基本方向3** 障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進
- 基本方向4** 信頼され魅力ある教育環境づくり
- 基本方向5** 家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり
- 基本方向6** 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

## 震災に伴う本県教育への影響

- ・児童生徒及び職員等に多数の死亡者と安否不明者【公立分：死亡者310人、安否不明者67人】
- ・学校施設に甚大な被害【公立分：739施設に約740億円の被害】
- ・児童生徒及び教職員の心身に大きなダメージ
- ・住環境の悪化や経済的支援を要する児童生徒の発生
- ・児童生徒の流動化【児童生徒数の減少、他高校への転学者の増加】
- ・就職内定率の低下【平成23年3月末内定率：87.6%（93.2%）、前年度同時期から3.3ポイント減（1.6ポイント増）】※（ ）内は全国値
- ・鉄道の運転見合わせ区間の発生に伴う通学時間の増加
- ・学校安全計画は殆どの学校で策定済み
- ・家庭・地域に甚大な被害
- ・被災地における家庭・地域の教育力低下が懸念
- ・社会教育施設、社会体育施設、文化財施設等に甚大な被害【公立分：844施設に約280億円の被害】
- ・生涯学習・文化・スポーツ活動の停滞が懸念
- ・学校に多数の被災者が避難【ピーク時で168校：公立分のみ】

## 論点（参考）

- 【学校教育の充実】**
  - ・心のケアと志教育
  - ・学力の向上
  - ・産業教育とまちづくり
  - ・教育の機会均等への配慮
- 【家庭・地域の教育力】**
  - ・家庭・地域の教育力の再構築
- 【生涯学習・文化・スポーツ活動の充実】**
  - ・生涯学習・文化・スポーツ活動の充実とコミュニティ意識の形成
- 【地域防災と学校】**
  - ・学校施設の防災拠点機能
  - ・学校の安全体制

## 宮城県震災復興基本方針（素案）における教育の取組

- 緊急重点事項**
  - ・学校・社会教育・体育施設の早期復旧
  - ・被災地区校を中心とした人的体制の強化
  - ・被災した児童生徒に対する就学支援と心のケア
  - ・通学困難な児童生徒に対する交通手段の確保
- 県全体の復興の方向性**
  - 1 安全・安心な学校教育の確保**
    - ・学校施設の復旧・再建
    - ・被災児童生徒の就学支援
    - ・児童生徒の心のケア
    - ・志教育の推進
    - ・確かな学力の定着
  - 2 家庭・地域の教育力の再構築**
    - ・協働教育基盤の整備
    - ・家庭教育支援体制の整備
    - ・地域ぐるみの学校安全の確保
    - ・防災教育の充実
  - 3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実**
    - ・社会教育施設の復旧・機能強化
    - ・自立復興に向けた生涯学習活動の推進
    - ・被災文化財の修理・修復
    - ・県民総スポーツ社会の実現
- ◇ 防災・安全・安心**
  - ・防災機能の再構築（教育施設の地域防災拠点機能の強化）

